

Question & Answer

Q 最近の採用実績は？

A 平成28年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が56人、地方支分部局が80人となっています。本省採用者は本省内の各部署や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間の一般職(大卒程度)試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	本省採用者	地方支分部局採用者		女性の割合
		管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所	
26年度試験合格者	52(18)	40(17)	18(8)	39.1%
27年度試験合格者	49(17)	45(19)	34(15)	39.8%
28年度試験合格者	56(23)	46(20)	34(14)	41.9%

★人数は各年度の国家公務員一般職(大卒程度)採用者数

★カッコ内は女性の内数

※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、国会業務や窓口業務などを除き、テレワーク(在宅勤務)も可能です。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部署の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務(例えば行政管理、地方自治、情報通信行政、統計など)を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります(2ページもご覧ください)。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成28年度を例にとると、総務省独自の業務説明会(8月4日～8月10日)、人事院主催の合同説明会(全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞が関OPENゼミ)等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成29年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。